

## 香川県国土強靱化地域計画策定有識者会議（第1回）における主な意見

日時：平成27年1月15日(木)13時～14時半

場所：香川県庁本館21階特別会議室

- 計画では、高潮の発生と100年に一度の風水害による氾濫が同時に発生するなどのより厳しい被害や、大地震の直後に大規模風水害が発生するような複合的被害を想定する必要がある。
- 地震が発生しても憂いを無くし、他県を助けるだけの余裕をもてるよう、住宅の耐震化率をもっと高めるべきである。
- 計画は、行政だけでなく企業や県民との役割分担も重要であり、その役割を県民に意識してもらう必要がある。行政の計画であってはいけない。自助、共助を含めた県、企業、県民が行う施策が必要で、相互の連携を考えることも重要である。
- 人命を守るといった部分でのハードでは補えない部分を、いかにソフトで補うかといった（自主防災組織などの人材育成等）記述も重要である。
- 計画に盛り込むべき県の特徴として、四国の防災拠点としての機能を上げているのだから、そこを分かり易いよう記載してはどうか。
- 強靱化では、対応すべきことは、あれもある、これもあると考えるが、あれもこれも一度には出来ないのだから、施策の重点化を行い、執行管理体制をつくりPDCAサイクルを廻していくことが必要である。